

発行所：株式会社じほう www.jiho.co.jp

本社/〒101-8421東京都千代田区猿樂町1-5-15

支局/〒541-0044大阪市中央区伏見町2-1-1

© じほう2015

オンコロジー専門MSLの派遣事業スタートへ インテリム

3月からがん領域に特化したオンコロジーCSOサービス事業を開始したCROのインテリム（大阪市）は、オンコロジー領域の製薬企業でニーズが高まるとみられるMSL（メディカル・サイエンス・リエゾン）担当者の育成を開始した。CMSLとして派遣する。すでに一部の製薬企業からオファーを受けており、派遣は年内か年明けにも開始する。

MSLは「高度な医学・科学知識を有し、その知識を基に医学・科学情報の交換、医師主導研究の対応、キーオピニオンリーダー（KOL）マネジメント等の業務に従事するスタッフ」（日本製薬医学会）と規定されており、開発途上段階から販売までの間に、がん治療施設のKOLと情報提供・意見交換などを行う。高い専門的知識を要求されるため、オンコロジーを主要製品としている製薬企業では育成が進んでいる。

4/6

《著作権法に定められた範囲内でのみ利用できます》

同事業を推進するオンコロジー事業企画部の高瀬正明部長は日刊薬業の取材に、オンコロジー領域専門のCMSLの育成・派遣に関して▽抗がん剤開発・マーケティング経験を有するCMSLを採用・派遣▽製品育薬戦略に沿った「がん腫」についての専門研修を社内で行う▽育薬戦略に沿った「がん腫」の専門医、治験担当モニターによる社内臨床講義の実施▽KOLを十分に理解したCMSLの育成、派遣▽派遣後も定期的なフォローアップ研修を実施する一などの社内方針をまとめ、体制づくりを行ったと説明した。

同社は、オンコロジー分野での派遣ニーズに応じるため、社内研修体制の強化を継続している。固形がん領域のアドバイザーとして2011年から西條長宏・元国立がんセンター東病院副院長を迎えているほか、今月からは血液がん領域の専門家として浦部晶夫・NTT東日本関東病院顧問（元血液内科部長）を迎えた。

同社が独自開発した研修カリキュラム「オンコロジー・スペシャリスト&エキスパート認定制度」のトレーニング資材を活用し、製薬企業内のCRAや開発スタッフ、MRを対象に研修事業も提供していく。

浮田哲州社長は「企業ニーズに応じた専門性の高いCMR、CMSLの育成・派遣体制が整備されてきた。CROとして、治験委託企業の開発からマーケティングまで幅広くサポートできる人材を育成することで、企業価値を高めたい」と意欲を示した。